



越庵 KOSHIAN

榎冬董  文字力



2024年 2025年  
11/16(土) ~ 3/9(日)

越庵 榎冬董の文字力

- 開館時間 9時~18時(入館は、17時30分まで)
- 休館日 水曜日・第3木曜日・年末年始(12/29~1/3)
- 入館料 一般 100円(高校生以上)・団体 80円(20名以上)

※ 障害者手帳等をお持ちの方、その介助者1名は無料



となみ野

散居村  
SANKYOSON

となみ散居村ミュージアム

〒939-1363 富山県砺波市太郎丸80番地  
TEL (0763)34-7180  
FAX (0763)34-7182  
URL <https://sankyoson.com>

てんこく  
書家・篆刻家

まき どうきん  
楨 冬 董 先生

富山市出身・在住



越庵 KOSHIAN  
楨冬董 文字力

伯父から遺品(民具)を譲り受けました。引き取ってから  
ずいぶん時間が経ちました。

民具たちが、<sup>つくもがみ</sup>付喪神になる前に成仏させたいと思い、  
金剛経を写経することになりました。約100点の民具たちを  
微力ながら金剛経の文字力によって供養したいと  
考えます。

毎日、公開制作として民具に写経する予定です。作品  
は、日々更新していきます。私は、文字と文字や物を心地  
良い空間に置いてあげたいと、常々考えております。日々  
更新する作品とその展示空間、そして文字の魅力を感じな  
がらご覧いただけたら幸いです。

越庵 楨冬董

中国美术学院大学院中国画系書法科修士課程 修了

2006 「楨冬董 書と印と」(東京:O美術館)

2012 「the mono show」(上海:M50 創意空間半島 1919)

2021 「The Rostock-Kyoto Art-Rainbow Project 2021」

(ドイツ:Societät Rostock maritim e.V.)

2022 「『変奏曲を編む』刊行記念展」(東京・京都・福岡・仙台巡回)

※ 辻利(日本茶メーカー)パッケージジ印

※ パブリックコレクション (ドイツ:Societät Rostock maritim e.V.)

つくもがみ  
付喪神とは

長い年月を経た道具などに宿  
る精霊のことで、古い道具に宿  
る妖怪のようなものです。

室町時代の『付喪神絵巻』に  
は、捨てられた古道具たちが、  
人間を恨んで付喪神に変わり、  
人や物をさらって、人々を困ら  
せるという話が描かれています。  
中世において、物は生きており、  
使わなくなった時には、他の生  
物と同じように供養しなければ  
ならない、そうしないと付喪神に  
なってしまうと信じられていたよ  
うです。



しゅうてん  
『集篆 金剛経』を写経

金剛経(金剛般若波羅蜜経)  
は、紀元前後から興った大乘仏  
教運動の先駆をなす般若經典に  
属し、一切のものにとらわれず超  
越すべきことが説かれています。  
『集篆 金剛経』は、様々な篆書  
(漢字の中で一番古い書体)32  
体で書かれています。

今回、民具に32体の篆書で金  
剛経を写経します。



ながもち  
付喪神になってしまった長持



開館日は  
楨冬董先生 毎日 公開制作します !!

となみ散居村ミュージアムへは・・・

場所 となみ散居村ミュージアム

民具館 展示室 ①

時間 11:00 ~ 15:00



koshian.com

楨冬董工房  
越庵ウェブ サイト

※ 『集篆 金剛経』などを約100点の民具に写経します。  
書や盛上書、拓本などそれぞれの民具に合わせた材料と  
手法で写経します。

※ 天候など諸事情により、制作できない日もございます。  
あらかじめご了承ください。



お問い合わせは・・・



となみ散居村ミュージアム  
(0763) 34-7180 まで